

日本保育協会保育科学研究所 第14回学術集会（オンライン）開催案内

日本保育協会では、保育科学研究所を設置し、専門職としての保育者の育成および保育の質向上を目的として、毎年学術集会を開催しております。

本学術集会は、日本学術会議協力学術研究団体として、保育に関する科学的研究の推進および関連学術団体との連携にも取り組んでおり、本年度で第14回を迎えます。

今回は、保育科学研究所の令和7年度総合テーマ「保育所等における子育て支援について」に基づいた研究発表を中心に、子どもの傷害予防と発達支援、インクルーシブ保育に関する講演を通して、保育者の専門性向上とこれからの保育実践や政策のあり方について考える機会といたします。

保育所等の役職員の方をはじめ、多くの関係者の皆様に保育に関する実践的な知見に触れていただく機会となれば幸いです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

対 象 ： 保育所等の役職員、大学等の教員・研究者、保育・教育行政担当者等

人 員 ： 500人（先着順）

期 日 ： 令和8年9月12日（土）10時～16時40分（9時30分開場）

開催方法： オンライン（Zoom）

※当日はライブ配信。後日再配信を予定しております。

主 催 ： 社会福祉法人日本保育協会 保育科学研究所
（日本保育協会は日本学術会議協力学術研究団体、日本学術会議教育関連学会連絡協議会加盟団体です）

協 賛 ： 有限会社 日保協

申込方法： お申し込み詳細は、4ページをご覧ください。

お申し込みは施設ごとをお願いいたします。

なお、各施設代表者1名のご登録により、複数のパソコン・スマートフォン等からご視聴いただけます。

参加費： 日本保育協会会員施設 6,000円 / 非会員施設 8,000円

プログラム

開場 9時30分
10時～10時15分 ・開会の挨拶 五十嵐 隆（保育科学研究所長・国立成育医療研究センター理事長）
10時15分～10時45分 「保育実践研究の取り組み方（保育現場から研究の良さを伝える）」 天野 珠路（田園調布学園大学大学院講師） 野村 明洋（南台保育園園長）
休憩 10時45分～10時55分（10分）
10時55分～12時5分（70分） 研究発表及び質疑①（令和7年度研究3題）※研究代表者名を掲載（発表者は変更の場合あり） ①「保育所等における特別なニーズのある子どもの子育て支援の在り方に関する研究 ー 保護者参加型のムーブメント教育・療法による保育の実践事例を中心に ー」 袴田 優子（鎌倉女子大学専任講師） ②「地域子育て支援拠点事業の利用児と在園児への影響に関する研究 ー 利用頻度と利用期間による子どもの様子の変化 ー」 碓氷 ゆかり（関西学院短期大学学長） ③「保育施設における予防接種管理と接種状況に関する研究」 菅原 民枝（国立感染症研究所感染症疫学センター主任研究官） ＜座長：二宮 祐子（保育科学研究所運営委員・文教大学准教授）＞
昼休憩 12時5分～13時5分（60分）
13時5分～14時15分（70分） 研究発表及び質疑②（令和7年度研究3題）※研究代表者名を掲載（発表者は変更の場合あり） ④「保育士と保護者の共通の困り感に焦点を当てた子育て支援に関する研究」 和田上 貴昭（日本女子大学教授） ⑤「保育士の子育て支援における食事援助の現状とストレスに関する研究 ー 保護者支援とのつながりに注目して ー」 橋本 洋子（秋草学園短期大学教授） ⑥「保育所等における子育て支援をよりよくするための連携と協働の方法に関する研究 ～ ICTの活用状況に着目して ～」 平山 猛（幼保連携型認定こども園さざなみ保育園園長） ＜座長：清水 益治（保育科学研究所運営委員・帝塚山大学教授）＞
休憩 14時15分～14時30分（15分）

14時30分～15時30分（60分）

講演1「保育管理下のケガを減らす」

講師 山中 龍宏 氏（小児科医、NPO 法人 Safe Kids Japan 顧問）

内容 近年、保育施設の事故防止や安全管理の重要性は非常に高まっています。一方で、安全確保を優先するあまり、子どもの発達に必要な経験が減少し、保育そのものが萎縮してしまうという課題も生じています。今回は「子どもが挑戦できる環境を整えるための保育の再設計」という観点から安全管理を捉え直し、保育実践における子どもの安全と発達保障の両立のあり方についてお話しいたします。

講師プロフィール

東京大学医学部卒。東京大学医学部小児科講師、焼津市立総合病院小児科科長、こどもの城小児保健部長を経て、1999年より2025年10月まで緑園こどもクリニック院長。2014年にNPO 法人 Safe Kids Japan を設立し、現在顧問。

休憩 15時30分～15時40分（10分）

15時40分～16時40分（60分）

講演2「インクルーシブな保育で『共生社会の担い手』を育む-子どもの視点で保育を見直しながら-

講師 久保山 茂樹 氏（国立特別支援教育総合研究所 インクルーシブ教育システム推進センター上席総括研究員（兼）センター長）

内容 保育施設では、これまでも子どもの一人ひとりの多様性を尊重したインクルーシブな保育を行ってきました。特別な支援を必要とする子どもを含む、すべての子どもが安心して過ごすことができる環境の在り方、子ども一人ひとりの育ちを丁寧に支える保育実践のあり方などについて、特別支援教育の研究者が保育の現場で学んでいることを踏まえてお話しいたします。

講師プロフィール

東北大学教育学部卒業、大学院教育学研究科博士後期課程退学。
専門は幼児期の特別支援教育、言語・コミュニケーションの障害。臨床発達心理士。

16時40分

・閉会の挨拶 吉田 学（日本保育協会理事長）

【研究発表に対する事前質問について】

研究発表への質問を事前に受け付けます。

詳細は、参加費の振込案内メールにてお知らせいたします。

なお、令和7年度研究の全文は当協会ホームページに掲載しております。過年度の研究も掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

「保育科学研究」第15巻：<https://www.nippo.or.jp/laboratory/bulletin.html>

<お申込み>

第14回学術集会のお申込みは、こちらからお願いいたします。

<https://forms.gle/VC5Cd1JxKFBVxiwA6>



<お申込み・ご視聴方法について>

- ①申込フォーム (<https://forms.gle/VC5Cd1JxKFBVxiwA6>) からお申込みください。
- ②お申し込み後、参加費の振込案内メールをお送りします。期日までにお振込みください。
(振込先は当協会のゆうちょ銀行の口座になります。)

なお、ご入金後のキャンセルについては、ご返金いたしかねますので、ご了承ください。

- ③開催日の3日前までに、参加用URLおよび資料を登録メールアドレス宛にお送りします。
- ④開催日当日(9月12日(土))は、③でお送りする参加用URLからご視聴ください。

なお、再配信については別途ご案内いたします。

<お申込み期限>

ライブ配信の視聴を希望される方は、

令和8年9月7日(月) 12:00 まで にお申し込みください。

なお、期限後もお申し込みいただけますが、ご視聴は再配信のみとなります。予めご了承ください。

<配信方法>

- ・本学術集会はオンラインで開催します。配信にはZoom ウェビナーを使用し、再配信を予定しています。
- ・ご参加には、インターネット環境およびパソコン・スマートフォン等の端末が必要です。お申し込み前に、Google 各種サイトの表示やZoomの利用環境など、動作確認をお願いいたします。

<注意事項>

- ・画面の録画・音声の録音・資料の転載は固くお断りします。
- ・お申し込み時にご提供いただいた個人情報は、日本保育協会の個人情報保護規程等に基づき、本事業の運営目的の範囲内で使用します。詳細は当協会ホームページのプライバシーポリシーをご参照ください。 (<https://www.nippo.or.jp/privacy/>)

<問合せ先> 社会福祉法人日本保育協会 企画情報部

電話：03-3222-2114 メール：gakujyutusyukai@nippo.or.jp

受付時間：(平日) 9:00~12:00 / 13:00~17:00

※詳細は当協会ホームページ「日本保育協会保育科学研究所・学術集会」に掲載しております。 (<https://www.nippo.or.jp/laboratory/shukai000.html>)